

図書館だより

NO.28

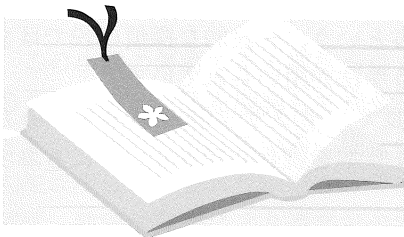
令和3年2月1日発行
函館工業高等専門学校



カウンター前には、新着図書や月ごとのテーマに合わせた図書が展示されています。

目次

若者よ、本を読め！頭を鍛えよ！……	1
特集 学生の読書感想文 ……	2・3
退職教員の読書のすすめ ……	4
新任教員からのおすすめ本 ……	5
本校教員執筆図書紹介 ……	6
私の大好きな本 ……	7
読みたい本を図書館に入れようキャンペーン ……	7
図書館リニューアルオープン ……	8
編集後記 ……	8



若者よ、本を読め！ 頭を鍛えよ！

図書館だより編集長 鳴海 雅哉

私は国語教師ですから学生のみなさんに読書を勧めるということも仕事のうちです。しかし読書は面白いからこそ勧めたいのですが、なかなかみなさんにそう感じてもらえません。ですからここでは「読書の効能」という視点で述べたいと思います。ずばり、読書をする「頭が鍛えられる」んです。

現代の我々は「映像文化」にどっぷりと浸かっています。テレビやYou Tube、またはInstagramなどのSNSを通して、見ているだけで情報を入手できる、ということです。また、わからないことがあればインターネットでたちまち検索して理解できます。図書館で文献や新聞から情報を探し出す必要性が減りました。これを仮に「検索文化」とでも名づけてみましょうか。しかし、上記の「文化」のおかげで「映像化されなければ概要をつかめない」「検索機能がなければ情報を入手できない」という事態に陥ってはいないでしょうか。そうなる「独力で情報を手に入れられない自分（＝自立できない自分）」になってしまいます。そこで「字や文だけで想像し、理解

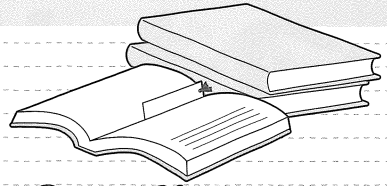
できる」「自分で知識を吸収し、整理整頓できる」ようになるための一つの方法が、読書だと考えています。だから読書を勧めます。頭は常に積極的に鍛えられるべきだと、私は考えます。

私は非常に危惧しています。現代人の頭の中が狭くなってきてはいまいか、と。我々人間は大昔から頭の中に無限の空間を展開し、技術や思考を深めてきました。しかしいまでは深化した技術によって、逆に人間の頭は易きに流れているのではないか、そのような不安を抱くときがあります。

従って、学生のみなさんにはぜひ図書館の本を読むことで頭を鍛えてもらいたいと思います。読書をする「読み解く力、想像する力、まとめる力など、多くの力が育まれます（このように書くのは野暮なのはわかっていますが）。みなさんが読書を通じて頭の中に無限の空間を生み出し、それとともに未来の可能性も膨らんでいくのなら、この上ない喜びです。本を読み、頭を鍛えて、未来へと続く道を切り開いていってほしいと思います。



特集



学生の読書感想文

泊先生の日本語コミュニケーションⅡの授業で、ブックレビュー高評価本の読書感想文です。

『探偵が早すぎる』を読んで

タイトル：探偵が早すぎる
著者名：井上真偽
出版社：講談社タイガ



2年生産システム工学科
機械コース
塩原 創太



皆さんは普段本を読むことはあるだろうか。私は元々かなりの読書家だったのだが、最近は忙しく本を読む機会が減ってしまった。

今回は、せっかく感想文を執筆する機会を頂いたので、この場を借りて私が読んできた中でも特に好きな本を紹介しようと思う。

紹介するのは井上真偽さんの『探偵が早すぎる』という探偵小説だ。

この物語のさわりだけを説明すると、この小説は探偵小説でありながら事件が起こらない。

タイトルの通り“探偵が早すぎる”ため、事件を起

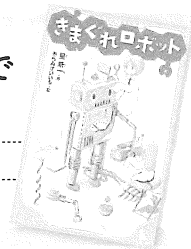
こす前に解決してしまうからだ。犯人視点で話が進み、解答編で「何故、探偵は犯行を未然に防げたのか」が明かされるという、一般的な探偵小説ではまず見ないであろう手法が用いられている。

話のテンポが良く、サクサク読み進められるため、忙しくてあまり本を読む時間がない方にもおすすめです。

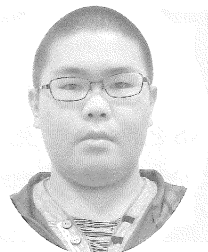
探偵小説としてはかなり異質な作風だが、とても面白く読みやすい仕上がりので是非読んでみてほしい。

『気まぐれロボット』を読んで

タイトル：気まぐれロボット
著者名：星新一
出版社：KADOKAWA



2年生産システム工学科
電気電子コース
中尾 颯人



僕はこの夏休みの間に『気まぐれロボット』と言う本を読みました。この本は、短い話を何個も集めた短編集です。一つの話が5~6ページ程で終わるため、とても手短かに読むことができるので勉強をしている時の休憩にも気分転換にも読めてしまう本です。

この本は、星新一さんが書いた話なのですが、す

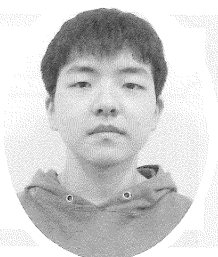
べての話がとても簡潔にそして少し読者が「クッ」と笑ってしまう表現が多くあります。僕もこの本はお勧めされて読んだ本。オチがおもしろく、想像した結末を裏切ってくる感じが癖になります。広い層で人気があると思うので皆さんも是非、本を読んでみてはいかがでしょうか？

『天空の蜂』を読んで

タイトル：天空の蜂
著者名：東野圭吾
出版社：講談社



2年生産システム工学科
情報コース
石川 廉



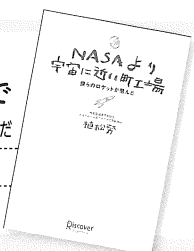
僕が紹介する本は『天空の蜂』という、東野圭吾さんが執筆された本です。舞台は福井にある高速増殖炉「新陽」の上で起きます。当時自衛隊最大のヘリコプター「ビッグB」をジャックした天空の蜂と名乗る犯人から、政府に向けて要求が送られます。その内容とは、「ビッグBの燃料が切れる8時間以内に、日本国内全原発の炉心を爆破して使用不能にしろ。さもなければ、ビッグBを新陽に落とす」という、日本国民全員が人質となっていると言わんば

かりの要求でした。そんな犯人の要求に、どんどんと登場人物たちは苦しめられていきます。

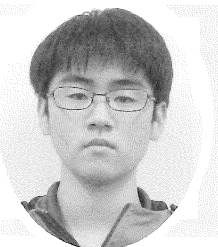
2011年の福島原発事故から原発問題は大きな問題となっていました。この本が出版されたのは約25年前。そんな昔から原発を問題提示している東野圭吾さん。作品途中の描写や、政府などへの皮肉。日本人への問題提起も一つのストーリーに上手くまとまっていて、天才だなと改めて思いました。面白い作品なので是非読んでみてください！

『NASAより宇宙に近い町工場 僕らのロケットが飛んだ』を読んで

タイトル：NASAより宇宙に近い町工場 僕らのロケットが飛んだ
著者名：植松努
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン



3年物質環境工学科
本間 大輝



この小説の著者である植松努は、北海道生まれであり、現在、商品を開発して資金を稼ぎながらロケットの開発を行なっている。現在に至るまでの彼の人生は決して恵まれていたわけではない。高校生の頃は、教師の独断により進学先の大学を勝手に絞られ、就職後のロケット開発においても様々な問題の発生により社員のモチベーションが下がるなど苦勞を重ねる日々を送っていた。さらには、商品開発でも大企業含め他企業との競争の中で資金をいかにし

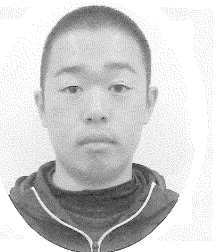
て稼げるかなどの問題にも直面している。しかし、彼はいわゆる「普通の人」とは違った「面白い発想」でそれらの問題を解決してきた。例えば、商品開発では、他企業は儲かるためにある程度壊れる商品を販売しているが、彼の場合は本当に壊れないような商品を作り、販売を行なっている。他にも面白い内容が沢山あり、自分のこれまでの考え方と彼の考え方を比較しながら読むとより一層楽しめると思う。

『通訳日記 ザックジャパン 1397日の記録』を読んで

タイトル：通訳日記 ザックジャパン 1397日の記録
著者名：矢野大輔
出版社：文藝春秋



2年社会基盤工学科
阿部 健児



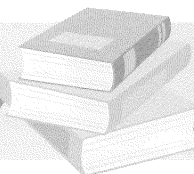
この本は2010年から2014年までサッカー日本代表の監督を務めたザッケローニ監督の通訳をしてきた矢野大輔さんの日記をもとにして書かれた本です。ザッケローニ監督が就任してから解任されるまでの出来事が細かく書かれています。監督の思いや選手との対談、ミーティングの内容など、通訳の人だからこそ知っていることが書かれています。特に印象に残っていることはザッケローニ監督は批判な

ども浴びながらもとても真剣に日本を勝たせるために戦っていることです。異国の地から日本に来たにもかかわらず日本のために全力を尽くし、選手としっかり向き合って、試合に臨んでいることがわかりました。監督がどのようなサッカーを目指し、どのような気持ちで試合に臨んでいたのかがこの本を読めばよく分かります。監督がやろうとしていたことを理解してもらうために書かれた本です。

退職教員の読書のすすめ



生産システム工学科
近藤 司



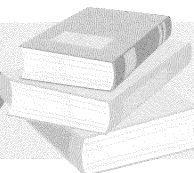
「読書エッセイ」

最近本を読まない生活が定着していて、本稿の依頼を受けて大変申し訳なく思っています。先日、卒業研究学生の大叔母さんが私の中学生時代の同級生であることが判明した。彼に当時私が書いた文書を見せたらしくそこには「27世紀から来たタイムトラベラー」と書いてあったそうである。顔から火が出る思いである。50年も前にTVでやっていたドラマ『時をかける少女』に夢中になり、筒井康隆氏の本を購入した。SFを初めて読み、起こることのな

い世界へ没頭したものである。特に「時を超える」という響きになんとも言えない興奮を覚えた。しかし、ブラックホールなど理論物理学の世界では本当に時間を超越する可能性が議論されているらしく、また先日のNHK番組では、アメリカ海軍が公認した「未確認飛行物体」も放映されている。子供のころSFに胸を躍らされていたのが現実となっていることに、もう少し長生きして見届けてみたい心境である。



生産システム工学科
浜 克己



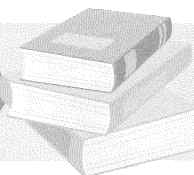
「読書エッセイ」

ここでは、読書の思い出を述べたいと思います。これまで読んだ本の多くは推理小説が中心で、古くは社会派推理小説ブームを起こした松本清張や探偵小説の先駆的存在の江戸川乱歩、最近ではバチスタシリーズの海堂尊や緻密なトリックや張り巡らされた伏線が人気の東野圭吾ですが、大学時代には長編小説を読む機会もありました。そのきっかけとなったのが国語の授業で、それは読書をした内容を簡単に纏め、担当教員の面談を受けるというユニーク

なものでした。課題には長編小説の候補設定もあり、私は故郷と実業家の主人公が起業した東京中村屋の物語に作者である白井吉見の戦中戦後の回顧録を併せた『安曇野』や、苦悩の末に人間回復への強烈な願望を訴えたヒューマンイズムが描かれたドストエフスキーの『罪と罰』などを選んで読み、読後に感動を覚えました。また、松本清張記念館や舞台の安曇野の地には、その後実際に訪問をしてその世界を感じたものでした。



一般系
浦田 清



「私と読書」

私はこれまで専門書以外に読書はあまりしませんでした。それでも時々、話題になった本を買って読むのが本との関わりです。面白いと一気に読んでしまいます。思い出に残るのは、学生時代、函館への帰省の時に一気に読んだ五木寛之の『青春の門』です。懐かしい思い出です。それと、太平洋戦争時のゼロ戦のパイロットを題材とした百田尚樹の『永遠の0』です。泣ける一冊だと紹介していたのを見て読んでみようと思い、読んだら涙、涙でした。

さらに読書と言えば、私が教師として影響を受け

た本があります。初版は戦前の古い本で池田潔という人が英国に留学した時の様子を紹介した『自由と規律』という本です。感銘を受けたのが、当時の英国のパブリックスクールでは試験の時に試験監督はいなかったということです。学生は、試験の意義を理解しているし、教師は学生を信頼していることから成しえることで、教育の理想の形だと思えました。

これからも、一気に読み終えるような本との出会いを期待しています。

新任教員からのおオオの本



生産システム工学科
中津川 征士

タイトル：ビルマの堅琴

著者名：竹山 道雄

出版社：新潮社



令和2年10月24日に50番目の国が核兵器禁止条約を批准し、令和3年1月の発効が決まりました。このニュースを聞き改めて戦争が意識されました。私の父母は幼少期に戦争を経験し、母は空襲を逃れ祖父の実家に戻ったこと、父は戦闘機の機銃掃射に命を奪われ土管に逃げ込んだ経験話を話してくれました。そんな話と共に母が話してくれたのが竹山道雄著『ビルマの堅琴』です。この物語は現ミャンマーでの終戦期が舞台で、堅琴の名手の水島上等兵が

主人公です。玉砕覚悟の別隊の説得にかけた水島は行方不明になり、代わりによく似た僧が目撃されます。帰国時旧友は僧にインコを託して「オーイ、ミズシマ、イッショニ、ニッポンヘカエロウ」と伝えます。英霊を葬らず日本に帰国できないとの決意の手紙と「アア、ヤッパリジブンハ、カエルワケニハイカナイ」と鳴くインコが届けられます。いまの日本だからこそ、平和の大切さと戦争の虚しさを感じられる本だと思います。



物質環境工学科
阿部 勝正

タイトル：真夏の方程式

著者名：東野 圭吾

出版社：文藝春秋



私は学生時代から東野圭吾の作品を好んで読んでいる。スッキリとした文体ながら登場人物の心情を秀逸に描く、それが彼の魅力だろう。そこで今回、ガリレオシリーズの一つで、映画化もされた『真夏の方程式』を紹介したいと思う。主人公である物理学者・湯川の、些細なことでも見逃さない観察眼の鋭さ・事実を正確に受け止める力は、科学を学ぶ我々もぜひ養いたい力である。

この本は、小学生の恭平が夏休みを過ごすために、玻璃ヶ浦で旅館を営む伯母一家を訪ねるところから始まる。道中、仕事で玻璃ヶ浦に向かっていた湯川と出会い、彼も伯母の旅館に宿泊することになった。翌朝、もう一人の宿泊客・塚原が変死体で発見される。彼は元刑事で、かつて玻璃ヶ浦に縁のある男を逮捕した過去があった。事故か、それとも殺人か。長年隠してきた真実、複雑な人間関係、一人の人間の人生を狂わしかねない事実・・・ご興味を持たれた方は是非ご一読ください。



一般系
OLEXA Robert

タイトル：TAMAYO的差別の乗り越え方
コメディ+LOVE♥

著者名：TAMAYO

出版社：解放出版社



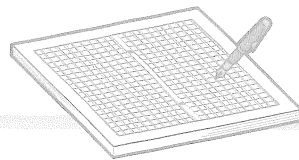
私が本を読むときは、ご想像通り、英語で読むことが多いです。でも、できる限り、一年に1冊2冊くらいは日本語で本を読むようにしています。一冊を紹介します。『TAMAYO的差別の乗り越え方 コメディ+LOVE♥』です。

にはコメディアンとして成功します。第二言語を話すことは難しく、第二言語でスタンドアップコメディをすることの難しさは言うまでもありません。でも「サクセス・ストーリー」よりも、TAMAYOさんの人間観察の視点が面白いと思います。特に、道具としてコメディは人間の多様性や共通点を深く調べて明らかにする力があるという話です。

日本人のスタンドアップコメディアンとしてアメリカで活躍をした、TAMAYOこと大槻珠代の自伝です。彼女は、大阪出身で高校卒業後、21歳の時に一人で渡米しました。実践で、アメリカのコメディークラブで失敗しながら英語を身につけて、つい

この本の中のTAMAYOさんからは、夢を追い求めることの価値を学べると思います。

【本校教員】執筆図書紹介



下郡 啓夫 (一般系)

『実例で学ぶ創造技法』(日本技連出版社)

第4章 MIセオリーハーバードの多重知能理論を応用した思考法 執筆

本書は、創造的な問題解決に使える「創造技法」を、実践で具体的に使えるようになることを意図して書かれた本です。この中で紹介されている17技法は、創造技法の基本的技法です。その創造技法の基本と進め方を解説、具体例や実践例も豊富に紹介しています。なにかアイデアを生み出すことに行き詰ったとき、この本を手にとってみると、解決の糸口がきっと見つかるはずです。

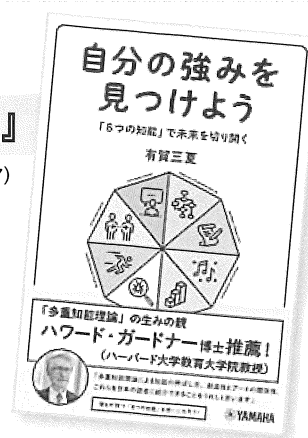
下郡 啓夫 (一般系)

『自分の強みを見つけよう～「8つの知能」で未来を切り開く～』

執筆協力

(ヤマハミュージックメディア)

本書は、元ハーバード大学教育学大学院教授のハワード・ガードナー氏が提唱した多重知能理論を解説した、日本初の入門書です。この理論によると、人間には単一の知能ではなく、「8つの知能」が備わっているとします。その裏には、どのような方にも、何かしらすぐれた知能が備わっているはず、という人間を見守るガードナー氏の優しい眼差しがあります。その優しい眼差しに触れ、ぜひ自分の得意なことを伸ばして飛躍するヒントをつかんでください。



泊 功 (一般系)

『三体II』(早川書房)

第3部 黒暗森林 翻訳

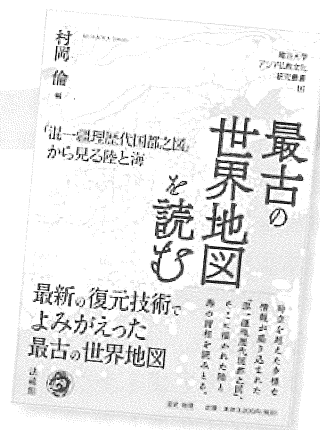
全世界で2100万部売れた劉慈欣による中国SF三部作の二作目。昨年日本語訳が出版された『三体I』も大ヒット。前作では地球から宇宙へ発信した電波をキャッチした三体人が征服艦隊を出発させるところで終わります。今作では三体文明と地球人とのファーストコンタクトがあり、地球艦隊は木っ端みじんにやられます。その結末やいかに？IIIの翻訳原稿ももう出版社に渡しました。IIIはもっと激しい。地球に残されたのは希望？それとも絶望？

中村 和之 (一般系)

『最古の世界地図を読む』(法蔵館)

『混一図』に描かれた北東アジア 執筆

『混一疆理歴代国都之図(こんいつきょうりれきだいこくとのず)』は、1402年に李朝朝鮮王朝で作られた地図で、モンゴル時代のユーラシア地図の姿を保存するものとされている。現在は龍谷大学の所蔵となっている。この地図は、邪馬台国論争などに使われて有名であるが、研究はさほど進んでいない。この本は画像処理などの手法を取り入れて、総合的に研究した成果であり、私は、「『混一図』に描かれた北東アジア」を分担執筆している。



私の大好きな本



4年生産システム工学科情報コース
アリフ
(MOHAMMAD ARIF FIKRIE BIN MOHD ROSDI)
留学生(マレーシア出身)

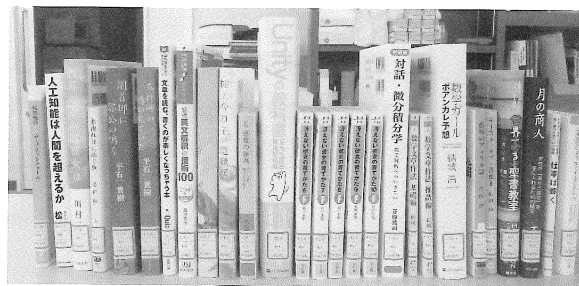
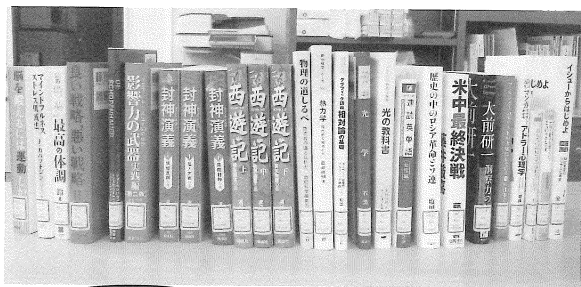
今回は、2年前に読んだ『Harry Potter and the Chamber of Secrets (邦題：ハリー・ポッターと秘密の部屋)』という本をおすすめしたいと思います。ハリー・ポッターの映画は見たことがあっても、原作を読んだことがある人はあまりいないと思います。ハリー・ポッターの原書を読むことで得られる恩恵はたくさんあります。この本を読むと、自分の英文法や語彙の力を向上させることができます。本の中で使われている語彙は人によっては難しいかもしれませんが、英語の力をつけたい人にはおすすめです。それだけでなく、良い英文の書き方を理解することにも役立ちます。私は高校時代、本に出てくるフレーズを参考にして英作文の表現に使っていました。描写がしっかりしていると、情景が浮かびやすい気持ちもより

伝わります。

ハリー・ポッターは、表現の描写が細やかだし、それぞれの言葉の意味と主人公の気持ちも理解しやすいです。ストーリーも面白いですから、楽しく読めると思います。ミステリー、SF、ファンタジーなどの小説が好きな方におすすめです。この本には、たくさんの魔法があり刺激的な登場人物がいて、面白くてユニークです。ハリー・ポッターは8巻までありますが、それぞれが独自のストーリーを持っています。私は、全8巻の中の2巻目『ハリー・ポッターと秘密の部屋』が一番のお気に入りです。もし良い本を読みたいと思っているなら、ハリー・ポッターは私の一番のおすすめです。

「読みたい本を図書館に入れよう！ キャンペーン」を実施しました!

今年は、新型コロナウイルスの影響により、図書委員会の活動も断念せざるを得ない状況となりました。そこで、図書委員の活動の中から、例年行われていた「ブックハンティング」の活動に代わるイベントとして、「読みたい本を図書館に入れよう！キャンペーン」を実施しました。1年生から専攻科まで15名の学生から約60冊のリクエストがありました。リクエストしてくれた学生への優先貸出後、図書館内での展示も実施しております。



自分の読みたかった本を買ってもらえて、うれしかったです。(本科4年)



学生の声

自分で買うとなると金銭的に大変なので、リクエストした中から数冊でも買ってもらえたのはとても助かりました。(専科2年)



このようなイベントのおかげで、本を読む機会が増えてありがたいです。(本科3年)



簡単に申し込みができて、何冊でもリクエストできたのがありがたいかったです。(本科5年)



図書館リニューアルオープン!

改修工事が終わり、2020年春、図書館がリニューアルオープンしました。現在は、新型コロナウイルスの影響により、学生、教職員のみ利用ですが、以前より快適にご利用いただいております。

開架書架が一方方向に配置された閲覧エリアは、図書を探しやすくなりました。



まるでカフェのような空間のコミュニケーションエリアは、気軽に図書館を利用したい学生の憩いの場となっています。



オープンカウンターでは、iPadを使って蔵書を検索したり、レファレンスサービスを受けたりできます。



2階にも勉強するスペースが増えました。その他、3つあるラーニングルームでは、グループ学習を行うことができます。



NITH.LI06314

おすすめ本や図書館からのお知らせ、イベント情報などは、**Instagram**や**ホームページ**をご覧ください。



函館高等図書館

編集後記

今年は新型コロナウイルス感染症のために図書館の活動は縮小を余儀なくされました。しかし、図書館だよりについては関係各位のご協力により、素晴らしい内容の原稿を大変スムーズに集めることができました。ここにご協力くださったみなさまにお礼申し上げます。また、作成に当たっては図書館担当の尽力の賜物です。同じくお礼申し上げます。次年度こそは明るく過ごせることを祈りつつ。
(鳴海 雅哉 記)

図書館だより NO.28

独立行政法人 国立高等専門学校機構
函館工業高等専門学校 図書館

函館市戸倉町14番1号
TEL 0138-59-6314

表紙題字：社会基盤工学科教授 平沢 秀之